

討論のまとめと行動提起

〇八年十二月十九日 北部地区活動者交流会議

ご苦労様です。今回の地区活動者交流会議は、今年の五月十八日(日)美里コミセンで行った以来であり半年ぶりに開催した会議となりました。今回の会議は、昨年の九月の五中総決定やその後の六、七中総決定に基づき、情勢の特徴や党の役割に確信を持つとともに、総選挙勝利をめざす諸活動の経験をお互いに交流することに主眼がありましたが、参加された皆さんの熱心な九人を上回る同志発言などにより、この目的は、達成されたと思いますが、いかがでしょうか。

私は、一人ひとりの発言に触れる事は、時間もありませんし、行いません。地区委員長自らが、皆さんの発言から、経験や教訓を大いに学び、年内活動や〇九年総選挙の勝利のために、生かして行く決意を表明しておきます。

但し、全体の特徴を幾つか、述べるならば、

第一は、九人の発言者の中で、若者、青年たちの発言が四割以上を占めており、全国の中でも、埼玉北部地区の青年たちの奮闘、努力は話題を広げ、評価されており、その勢いが、この会議に反映されていることを、ともに喜び、さらなる前進への期待も表明したいと思いません。

第二は、今日の情勢も反映し、地区内でもくらしや雇用への不安が広がる中で、日本共産党への期待が、高まってきていること。それを作り出しているのが、国会論戦や志位委員長を先頭にした攻勢的なたたかいとともに、地域や職場、学園の「支部・後援会を主役」にした草の根の活動やたたかいが反映していることが、討論を通じて、浮き彫りになったのではないのでしょうか。

この支部・後援会の強化こそ、総選挙勝利へ通じる最大の近道ではないのでしょうか。あらためて、一年前の参院選の結果から導き出した二つの教訓である①、実力をつけること、②、すべての黨員、後援会員などの力を発揮させたのか、という教訓を、もう一度、振り返って、すべての支部・後援会が年内の活動の総仕上げをやりとげようではありませんか。

皆さん。次に行動提起ですが、十二月の方針は、繰り返し、述べている通り、十二月二日付け「別刷り」主張が基本です。地区党の具体化は、地区党報第53号で、地区党の具体化もすでに提起しています。この方針を中途半端にするのではなく、「自ら決めた方針をやりぬく」立場で、私たち地区役員を先頭に努力し、支部としてもこれらの方針を支部会議で議論し、「自ら決めた方針」をみんなの力を集めやり抜こうではありませんか。

具体的にいくつか、強化点を提起します。

①、 年内の活動も残り10日あまりとなりました。とりわけ、明日20日(土)21日(日)と23日(火)の連休作戦は、12月の諸課題の結果を大きく左右することになると思います。すでに、各支部で、炊き出し体制や支部ニュースなども発行し、参加者を広げて、拡大統一行動などを計画している支部も広がってきていますが、まだの支部・後援会は、ぜひ、2日付け「主張」などを使って、支部会議や打ち合わせも行い具体化をお願いします。

北部地区全体では、この三日間で、黨員10名以上、読者では、日刊紙30部、日曜版170部を拡大し、12月の平均減紙を上回り、今月の前進を切りひらくところまで、もっていく決意です。ぜひ、今日の会議参加者も、お渡しした袋の中にある黨員拡大用の綱領・規約のパンフや宣伝紙なども使って、地区党の先頭に立って奮闘されることを心から呼びかけます。

②、 議員の皆さんに特別のお願いが一つあります。それは、いま、12月議会の中でも、わが党議員団は、この不況克服、雇用対策へ様々な努力をしていただいておりますが、いま、全国や埼玉県内でも努力が始まっている各自治体首長や関係団体などへの「年の瀬の緊急対策の申し入れ」などの努力をお願いしておきます。そして、大いに街頭からも日本共産党の勢いを作り出していこうではありませんか。

③、 最後に、年末財政活動の強化のお願いです。党費、機関紙代、募金、節約が党財政の要であります。党費納入は、毎月努力し、一定の改善はされてきていますが、今年度は、昨年と比べ、総のべ納入数でも遅れています。あたたかい党をつくる上でも、未納者を生まない努力が大切です。ぜひ、党費未納者への訪問に、DVDなども届けながら、働きかけを強めて下さい。

くらしの大変さがいっそう深刻になっています。支部活動から遠ざかっている党员ほど不安な日々を送っているのではないのでしょうか。すべての党员を訪問して「お変わりありませんか」と声をかけ、相談にものり、全党员が励ましあって新しい年を迎えられるようにしましょう。

募金活動の強化も、年内活動の重点課題の一つです。北部地区党の弱点のひとつですが、専従者給与が、現時点で9月分以降が未払いとなっています。業者への未払い、県委員会への上納など、予算上は、選挙募金と年間募金をあわせると90%以上の納入をやりとげなければ、この解決はできません。党员や支持者の皆さんにも、この不況の影響は広がっており、この課題の推進にも、知恵と力が必要です。ぜひ、年末財政の確立にも、特別の目配せを心からお願いする次第です。

最後ですが、最新の地区ニュースにも紹介しておきましたが、今年の1月に開設した北部地区ブログのアクセス数は、五十万件を超え、ベストファイブも紹介しましたが、JAひびきのと本庄・児玉議員団との農業再生プランでの懇談の記事は、7月以来で3万件のアクセスとなっています。確かに、日本共産党への関心、注目度は、かつてない高まりが、この北部地域でも、赤旗しんぶんの購読申し込みや宣伝紙の希望が1ヶ月で6軒、「入党したいのですが」という労働者などの問い合わせにも現れています。

何としても、12月目標達成にこだわって、総選挙勝利めざして1月10日全県の新春のつどいや各地の新春のつどいに結集していこうではありませんか。

寒さも、厳しくなりますが、お身体にも気を配りながら、政治の春を迎えるために、お互いに奮闘しようではありませんか。以上でまとめとさせていただきます。

以上